

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.25)No.	1039	(H.24)No.	1039
-----------	------	-----------	------

事務事業名	外出支援サービス事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
健康福祉部	高齢・障害支援室	高齢者福祉担当 生坂康治	

会計区分	事業コード	142101
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款 民生費	外出支援サービス事業	
項 社会福祉費	(小事業名)	
目 老人福祉費	外出支援サービス事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1 互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし
	基本政策	5 自立を支える地域福祉の充実
	施策	1 高齢者福祉
	小施策	3 保健福祉サービスの充実
重点施策コード		

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
寝たきり高齢者の外出を支援し、住み慣れた地域社会において在宅生活を継続できるようにする。
事業内容
座位が保てない寝たきり高齢者に、1年度当たり24千円以内の名張市高齢者外出支援サービス事業利用券(1枚500円)を交付し、市が委託する事業者のストレッチャー装着車両による送迎車両を利用できるようにする。自宅と医療機関等の間の利用を対象とする。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.24年度(事業量・取組実績)	H.25年度(事業量・取組計画)	H.26年度(事業計画)	H.27年度(事業計画)	H.28年度(事業計画)	
主な事業の実績・計画	・利用者6人 ・利用枚数 108枚 ・500円×108枚=54千円	・利用者8人 ・利用枚数 192枚 ・500円×192枚=96千円	・利用者8人 ・利用枚数 192枚 ・500円×192枚=96千円	・利用者8人 ・利用枚数 192枚 ・500円×192枚=96千円	・利用者8人 ・利用枚数 192枚 ・500円×192枚=96千円	・利用者8人 ・利用枚数 192枚 ・500円×192枚=96千円

	H.24年度(決算見込)	H.25年度(作成時予算額)	H.26年度(計画予算)	H.27年度(計画予算)	H.28年度(計画予算)
直接事業費	54千円	96千円	96千円	96千円	96千円
内訳(千円)					
国・県支出金					
地方債					
その他()					
一般財源	(0) 54	96	96	96	96
人工数					
職員	0.07人	0.07人	0.07人	0.07人	0.07人
臨時職員等	0.04人	0.04人	0.04人	0.04人	0.04人
概算人件費	(0千円) 607千円	607千円	607千円	607千円	607千円
+ 総事業費	(0千円) 661千円	703千円	703千円	703千円	703千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.24年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
高齢者福祉サービス(介護保険外市独自サービス)として順調に目標を達成できている。	引き続き、事業の啓発に努め、対象者に対し適切なサービスに努める。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	座位が保てない寝たきり高齢者の保健福祉サービスの一躍を担っている。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 該当しない	

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(現行)
--	--------

具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に係る主な市の計画
寝たきりの状態であっても、住み慣れた住宅の生活を維持できるように、また家族の負担軽減を図るための支援をする必要がある。	